



# 横浜北地区

鶴見 神奈川工業 横浜翠嵐 市ヶ尾 港北 川和 霧が丘  
白山 新羽 田奈 荏田 鶴見総合 岸根 新栄 元石川 城郷 神奈川総合



## 平成25年度 横浜北地区大会

日 時	平成25年10月5日(土) 13時00分～16時00分
会 場	鶴見大会館 メインホール
参加者数	276名
内 容	<p>◆講 演 「現代の高校生の特徴と教育的対話法」 大草 正信 氏 (神奈川県スクールカウンセラー・スーパーバイザー)</p> <p>◆研究発表Ⅰ 田奈高等学校PTA 「学校とともに子どもたちを支援するPTA活動」</p> <p>◆研究発表Ⅱ 神奈川総合高等学校パートナーズ 「そーだ学校へ行こう。～土曜日に青春するオトナたち～」</p> <p>◆助言者講評 平田 治夫 新栄高等学校長 (高P連横浜北地区会長校校長) 八木 興造 元石川高等学校長 (高P連横浜北地区副会長校校長)</p>

## 現代の高校生の特徴と教育的対話法

—誰も知らなかった「心の遣い方」を教える体験的対話教育法—

講師 大草 正信 氏

大草先生は、横浜市南部児童相談所診断指導係、横浜市養護教育総合センター相談指導室にて勤務後、平成13年より大草心理臨床・教育相談室を開設され、現在は横浜国立大学非常勤講師、神奈川県スクールカウンセラー・スーパーバイザーとして、学校だけでは十分対応できない事案を先生方と協働で処理されています。

講演内容は、知っていると思える心理学を、体験談を交えながらお話していただきました。

1. 人間の心は二種類の思いではたらいっている。  
「一次意識（自然に思う）の思い」と「二次意識（自分で創る）の思い」
2. 現実適応のために創る「二次意識の思い」が適応機制  
適応するための思いを創ると適応して生きていける。
3. 思ったら思うようになる「思い」と「行動」の原理  
人は、思いを創ると、創った思いの様に行動する。

\* 行動だけが大事なのではなくて、行動以上に「心の中の思い」があって初めて行動する。

～魔法のことば～

「～してみるか」 「～やってみようか」

さあ！思いを創ってみましょう！



時間の関係で、お一人の方しか質問は出来ませんでした。大草先生がお話しできなかった部分を、鋭く指摘した質問でした。

また機会があったら、別のお話も聞いてみたいという方が、たくさんいらっしゃいました。

## 「学校とともに子どもたちを支援する PTA 活動」

### 1 学校紹介

緑に囲まれた、閑静な住宅街の中にある本校は、創立 36 年目を今年迎えました。平成 21 年度より「クリエイティブスクール」に認定され、各学年 8 クラス、683 名（6 月 1 日現在）の生徒が学んでいます。

### 2 クリエイティブスクールとは

「クリエイティブスクール」は、中学校までに、持てる力を必ずしも十分に発揮しきれなかった生徒を積極的に受け入れ、さまざまな教育活動を通して、これからの社会生活をよりよいものにする意欲と他者との関わりを大切にしながら、主体的に学び、考え、行動する「社会実践力」を育む学校です。

田奈高校では、支援を必要としている全ての生徒に対して、個別的に、早期に、段階的に支援する「支援教育」に軸足を置いた取組みを展開しています。田奈高校の支援は次の 3 つを柱にしています。

#### ○学習支援

学習支援体制の整備

放課後の補習・学習相談

多文化教育担当の配置

日本語指導・通訳の手配

#### ○生徒支援

教育相談体制の充実

教育相談コーディネーターの配置

コア会議 職員間の情報の共有化

外部機関との連携 メリハリのある生徒指導

#### ○キャリア支援

キャリア教育の推進

「進路研究活動」

「田奈高校キャリア支援センター」の設置



### 3 PTA 紹介

本校の PTA は「本部役員会」と、「広報委員会」、「学年委員会」、「成人委員会」、「交通安全対策委員会」の 4 つの委員会からなる常任委員会で構成されています。本部役員は常任委員会との連携を図り、コミュニケーションを大切にし、お互いに相談しあい、みんなで PTA を作りながら交流を深めております。本部役員会と常任委員会とで月 1 回開催される運営委員会において活動内容を協議し、活動を進めています。

### 4 田奈高校の「支援」の取組み

本校の「支援」という取組みの一例として、田奈レンジャーを紹介します。クリエイティブスクールになる前、田奈高校での体育祭や文化祭への生徒の参加率は決してよくはなかったのが実状です。そこで、何とか子どもたちを学校行事に参加させたい。そのような気持から生まれたのが新聞でも話題になった田奈レンジャーでした。この田奈レンジャーの登場により、子どもたちの体育祭や文化祭への参加率は劇的に増加しました。田奈レンジャーは子どもたちを何とか「支援」したいという学校の取組みの

一つです。

このような背景から、私たち PTA も学校と協力し、クリエイティブスクールの「支援」という立場から日々の PTA 活動を行っております。

## 5 学校とともに子どもたちを支援する PTA 活動

様々な支援をしている本校ですが、残念ながらすべての入学生が無事卒業できるとは限らないというのが厳しい現状です。PTA は学校と協力し、子どもたちを支援するために様々な活動をしています。

3 学年の合同懇談会ではスクールカウンセラーとの学習会を通し、様々な心の問題を抱える子どもたちの現状を知り、学年を超えて情報交換をすることによって学校と家庭とが協力して子どもたちを支えられるように実施しています。

紅葉祭（文化祭）では PTA が提供する豚汁は生徒に好評であると同時に、私たち保護者の交流の場となっています。豚汁は 12 月に行う駅伝大会の後でも子どもたちに振る舞われ、駅伝大会の参加率向上の原動力となっています。文化祭ではこの他にも制服リサイクルやバザーなども開催し、子どもたちと同時に家庭を支援する場となっています。

こうして様々な支援をし、無事に卒業できた子どもたちを全力で祝いたいという気持ちが田奈高校にはあります。その気持ちの表れの 1 つに卒業生全員につけるコサージュの制作があります。成人委員会主催のコサージュ作りは年 2 回あります。1 回目は卒業式のための予行練習として、保護者が中心になって行います。2 回目のコサージュ作りは 3 日間をかけ、子どもたちの輝かしい未来へ願いをこめ、また保護者の中にはわが子の胸に無事コサージュが付けられるように祈り、後輩たちはお世話になった先輩たちのためにそれぞれが思いをこめてつくります。このコサージュを胸に付け、卒業生たちは卒業していきます。

## 6 まとめ

学校と違い、私たち PTA が子どもたちにできる事はそう多くはありません。

しかし、学校とともに子どもたちを見守り、学校行事の中で私たちにできることがあれば精一杯のお手伝いをしていく。私たち PTA も子どもたちの学校生活の思い出づくりのお手伝いができたらと考えています。

助言者講評（田奈高校）

元石川高等学校 校長 八木興造

支援という言葉がキーワードになっています。子供たちが無事卒業し、次のステージに上られるよう生徒支援、学習支援、キャリア支援が行われています。自分の進路を考える力を身につけ、卒業の日には保護者、地域の方々、職員に見守られて、自分一人ではなく、みんなに助けられて生きていると感じながら、卒業しているのだと思い感動しました。

助言者講評（神奈川総合高校）

新栄高等学校 校長 平田治夫

パートナーズという名前で学校とともに歩む意気込み、気持ちを感じられました。自由で新しい発想を持った学校で、現在、歴代の校長先生、PTA の方々の意気込みが、脈々と生きてつながっています。世界に開かれた学校、幅広く自由な発想で、グローバルな視点が活動の中に息づいています。たくさんの方の輪が広がる学校の雰囲気が感じられました。工夫された劇で、発表も丁寧でした。

# 「そーだ。学校へ行こう。～土曜日に青春するオトナたち～」

神奈川総合高校パートナーズ

『 神奈川総合高校パートナーズ 』とは…

本校では PTA という称号は使用せず、『パートナーズ』という名称で活動しています。

## 1. パートナーズ総会

毎年 5 月の最終土曜日にパートナーズ総会を開催しています。

この総会は『パートナーズ総会フェスティバル』と称し議事の承認を得るだけでなく、生徒のダンス、吹奏楽部の演奏、放送部の朗読発表、さらにパートナーズの太極拳や合唱の披露を行います。そして、最後に全員で校歌を大合唱して締めくくります。

今年度の総会は 738 世帯に対し出席者 198 名の出席がありました。



総会フェスティバルだけでなく毎月第 1, 第 3 土曜日には 100 名以上の保護者が学校に集まります。

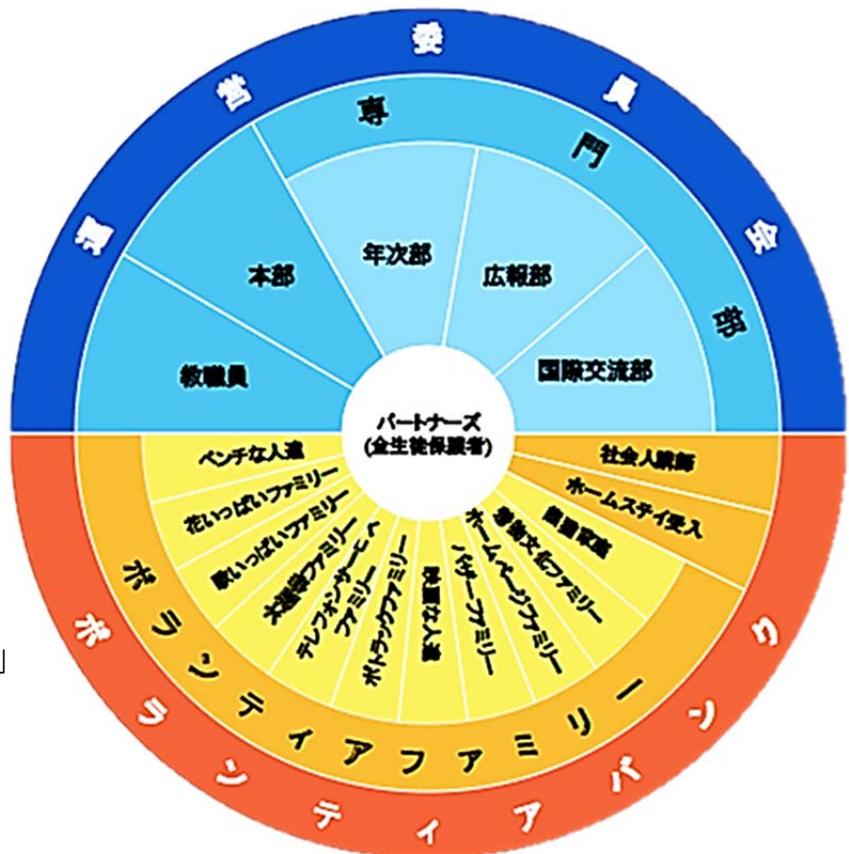
## 2. パートナーズ主催の主な行事

- ・体感ツアー（授業参観）
- ・校長先生と語る会
- ・進路を考える会
- ・そーだ。神奈総生に聞いてみよう
- ・帰国・在県外国人保護者懇談会
- ・ウェルカムパーティー 等等



## 3. パートナーズの組織

本部  
+  
専門部 3 部  
+  
ボランティアファミリー 11 団体

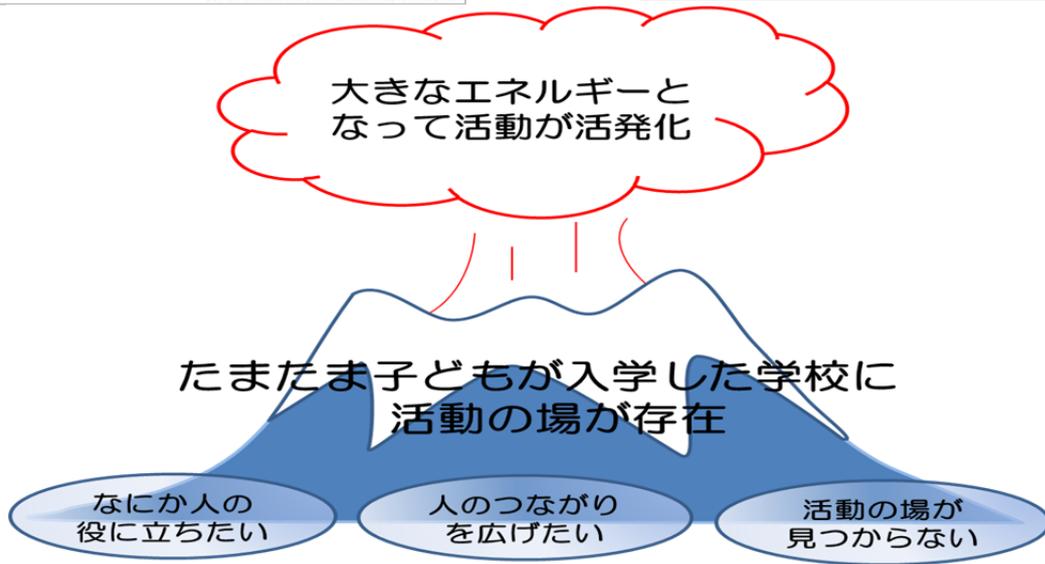
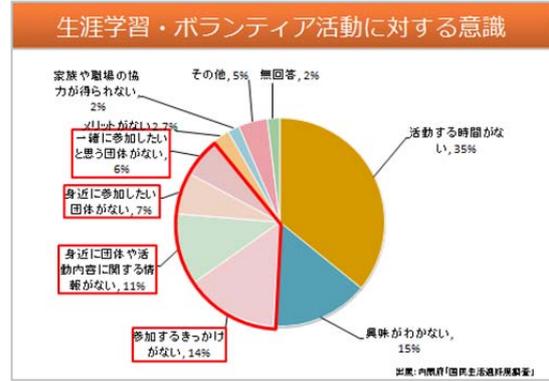
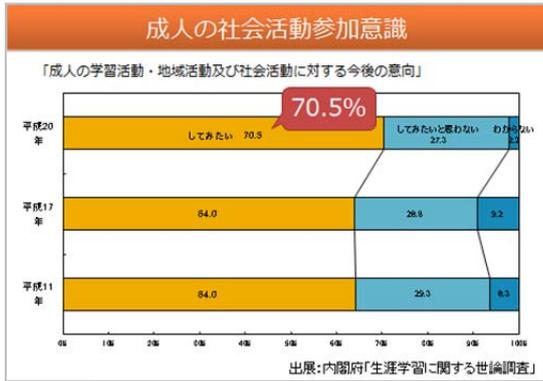


『ボランティアファミリー』とは…

開校時、新しい学校に見合う  
自由で新しい発想の PTA を目指し  
まずは「親たちが喜んで学校に足を運ぶ」  
ために作られた組織。  
様々な方法で、学校や生徒を支援します。

#### 4. なぜこのような活動が可能なのか？

もともと、日本人の成人に生涯学習やボランティア活動へ参加したいという意識が多く潜在している。



#### 5. パートナーズ活動への協力体制とそれぞれのメリット

パートナーズの活動には、学校や生徒たちの協力が欠かせません。この活動は学校、生徒、保護者それぞれに大きなメリットがあり、相乗効果を生み出しています。

パートナーズ活動への協力体制	
学校の協力	生徒の協力
土曜日の学校開放	印刷機等共用備品の使用承諾
学校行事に関する情報提供	広報部取材への積極的な協力
学校行事へのパートナーズ参加の理解	文化祭参加への支援協力
各団体を担当する先生の支援	総会フェスティバル開催時のホール運営

学校のメリット

- 学校行事の一部を担当し学校支援
- 広報誌やホームページで公式サイトにない情報を発信
- ベンチ等を制作、学習環境の整備に貢献
- 常に保護者の目が行き届いた環境に

生徒のメリット

- 自分達をいつも見守ってくれているという安心感
- 共通の話題による親子の会話の増加
- 親子で行事に参加
- 自分の親が学校を支えていることへの誇り
- 大人になることへの肯定感

保護者のメリット

- 学校への関心の増加
- 学校の様子を自分の目で確かめられるという安心感
- 仕事や家庭以外のネットワークの広がり
- 我が子がこの学校に入学してくれたことへの感謝
- 子どもの進路の自主性を尊重

**そーだ！保護者が生徒たちのために**  
**できるときにできることをやるのが大切なのだ！！**